

1 はじめに

本校では、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てることを特別活動の目標としている。しかし、今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が実施できないことや制限されることが多かった。特に、全校児童が集まる活動などは行うことができなかったり、学年を制限したりということがあった。このような状況の中でも、感染症対策をしながら行った縦割り班活動について紹介する。

2 資料

(1) 縦割り班活動のねらい

ア 遊びや体力づくりゲーム等を通して、遊び方の広がり、運動の日常化を目指す。

イ 人間性豊かな児童の育成のため、連帯意識（ともに生きる喜び・ともに向上しようとする気持ち、協力して物事を成し遂げる精神）を高める。

(2) 活動内容

本校の縦割り班活動は、「ハッピータイム」という名称で、1年生から6年生までを16グループに分け、月1回、青空タイム（ロング昼休み）に行っている。6年生がリーダーとなり、活動場所や下級生の意見を参考にしながら遊びの内容を計画し、準備したり当日の進行を行ったりしている。遊びの内容は、だるまさんが転んだ、大縄跳びなどであり、全学年が楽しめる遊びを行っている。今年度は、安全面を考慮し、室内でも活動を行うことがあった。6年生は、意欲的に計画を立て、下級生の面倒をよく看ている。また、5年生は2年生の活動場所までの送り迎えをしており、徐々に最高学年への意識が高まっている。1～4年生は、普段とは違う異学年での交流を楽しみにし、当日の6年生の説明をよく聞き、生き生きと活動している。



3 成果と課題

縦割り班活動を通して、学級や学年をこえた人間関係をつくることができた。高学年を中心とし、児童同士で遊びが成功するよう自主的に協力し合って活動する姿が見られた。また、6年生に限らず下級生の面倒を看る様子が見られ、思いやりの心が育っている。

感染予防策として、ソーシャルディスタンスを取れる遊びに限られることが多く、次年度は、活動場所や内容を検討していく必要がある。